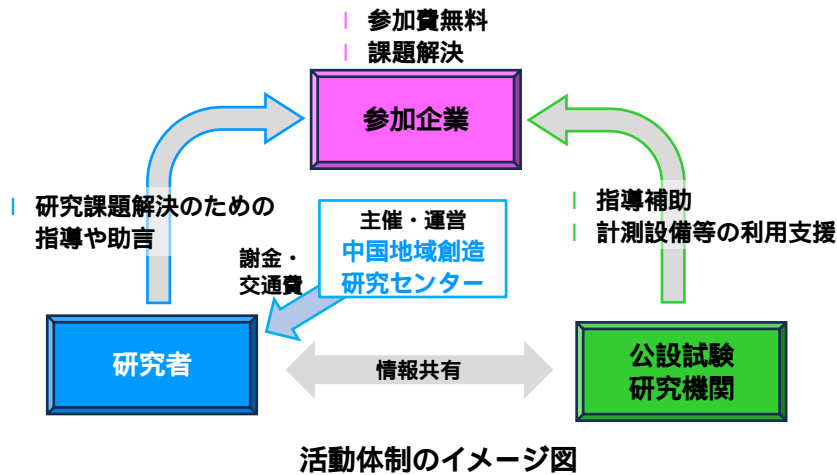


育成支援プロジェクト（感性価値編） 2026 年度運営要領

1. 目的と概要

育成支援プロジェクト（感性価値編）は、研究・開発において特定課題を持つ企業が、中国地域の大学・公設試験研究機関の感性工学・人間工学の研究者の支援・指導を仰ぎながら、これを解決する価値の育成支援活動を推進する。



本プロジェクトでは産学官が連携し、感性工学/人間工学を活用することで、参加企業の以下のような課題解決を目指します。

- 人の「感性」に響く新たな製品やサービスを開発したい。
- 学術的な視点を取り入れたイノベーションを検討したい。
- 自社の製品・サービスに新たな価値を創出したい。

2. 実施テーマ

今年度の実施テーマ、参加企業および研究者は別紙 1 のとおり。

3. 活動期間

2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

4. 個別検討会

- ① 参加企業と研究者の個別検討会を開催します。
- ② 個別検討会は年間 10 回まで開催可能です。
- ③ 個別検討会には当センターの職員も参加し、伴走しながら助言や進捗管理を行います。
- ④ 実施手順は別紙 2 を参照してください。手順の概要を以下に示します。
 - 参加企業が事務局へ申請書（様式 1）を提出
 - 事務局が研究者へ参加依頼書（様式 2）を発信
 - 個別検討会の開催後に、研究者より事務局へ報告書（様式 3）を提出
- ⑤ 参加企業は、年間の開始時に研究計画書（別紙 3）、年間の終了時に取組総括（別紙 4）を事務局へ提出してください。

※ 上記書類（電子データ）の事務局への提出先は、以下のとおり。

代表メールアドレス：situsiki@crirc.jp

5. 費用等

※ 支援・指導をしていただく研究者への謝金・交通費を、当センターからお支払いします。

※ 謝金は 5,000 円/30 分（税込み）（30 分単位に切り上げ）かつ 1 人 1 日最大 2 万円まで。

当センターが研究者へ支払う謝金・交通費の年間総額の上限額は 1 テーマあたり 20 万円（税込み）です。超過されて実施される場合は、企業様にてご負担およびご対応をお願いします。

※ 企業様の個別検討会への参加費は無料ですが、交通費等は自己負担となります。

6. ホームページ等での公表

会員の会社名・所在地・主な事業内容を当センターのホームページや機関誌にて公表します。

7. 研究結果の公表

会員の特許等の企業秘密に影響しない範囲で、会員の同意を得て、当センターのホームページ、機関誌および展示会などに研究結果を公表させていただきます。

8. その他

当センターの本プロジェクトに登録していただいている研究者は別紙 5 のとおり。

《添付資料》

別紙 1 テーマ一覧

別紙 2 個別検討会実施手順

- 申請書 （様式 1）

- 参加依頼書（様式 2）

- 報告書 （様式 3）

別紙 3 研究計画書

別紙 4 取組総括

別紙 5 研究者一覧

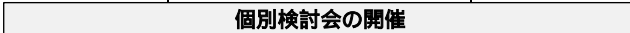
以 上

2026 年度 育成支援プロジェクト（感性価値編）テーマ一覧

No.	テーマ	企業	研究者
1	CFRP 姿勢矯正座椅子並びに ALL CARBON CHAIR2 の座り心地と機能増進研究	応原工業株式会社	広島国際大学 石原茂和
2	無垢を育て、無垢に触れる ユーザーへのアプローチ方法と商品改良の検討	株式会社ウッドワン	広島大学 農澤隆秀
3	サイズフリーの労災用転倒予防靴下の開発	株式会社コーポレーション パールスター	県立広島大学 井上誠
4	ズレないムレない楽しくクッションの検証	株式会社コーポレーション パールスター	鳥取大学 井上貴央
5	脚部保護における人間工学を取り入れた快適性・安全性の追求	アトム株式会社	広島国際大学 石原恵子
6	アートパネルの開発	有限会社ひわだや	山口大学 長 篤志 山口県立大学 長田和美
7	冷凍お好み焼きリニューアルへの味覚・イメージ調査 *	株式会社 ISE 広島育ち	元キリン HD 太田恵理子
8	調味料のコンセプト整理、感性訴求ポイントの検討 *	味日本株式会社	元キリン HD 太田恵理子
9	端材による人の心に響く木製知育玩具の開発 *	高橋工芸株式会社	dise DESIGN STUDIO 中道大介 福山平成大学 藤江浩子

* ひろしま感性イノベーション推進協議会より推薦されたテーマ

個別検討会実施手順

項 目	会員企業	研究者	事務局	備 考
日程調整	    ※ 日程調整			※ 会員企業は研究者および事務局と開催日程を調整
開催依頼	   申請書 (様式 1)		  申請書 (様式 1)	※ 会員企業は開催申請書（様式 1）を開催 14 日前までに事務局へ電子メールで送付（押印省略）
参加依頼		 	 参加依頼書 (様式 2) 申請書 (様式 1) [承認済み]	※ 事務局は参加依頼書（様式 2）に開催申請書（様式 1）[承認済み]を添付して電子メールで研究者へ発信し、（写）を会員企業へ CC メール
開催	 個別検討会の開催			※ 原則として、個別検討会に事務局も同席
報告書 (議事録) 提出	 （事務局欠席の場合、 議事録を提出）	    報告書 (様式 3) ※ 報告書様式は年度毎に指定 ※ 開催後 10 日以内に、報告 書を事務局へ電子メールで 提出（押印省略）	  報告書 (様式 3)	※ 研究者は開催後 10 日以内に、報告書を事務局へ電子メールで提出（押印省略） ※ 報告書に開催時間を明記（謝金精算の諸元データ） ※ 事務局欠席の場合、会員企業は議事録を提出
経理処理		 	  	※ 指定口座に謝金・交通費を振込

個別検討会開催申請書

2026年 月 日

申請者

所属：

氏名：

開催日時	年 月 日 : :
開催地 〔住所〕	〔 〕
参加者 (敬称略)	指導研究員 : 会員企業 : 事務局 :
テーマ	
課題検討事項、 指導を受けたい 事項等	
その他 (添付資料等)	

【事務局記載欄】

産業創造部長	事業支援グループ		
	グループ長	副グループ長	担当

事業区分 225

標記の個別検討会を開催し、指導研究者に出席を依頼します。

公益財団法人中国地域創造研究センター

〇〇〇〇様

公益財団法人中国地域創造研究センター
専務理事 大井 博文

育成支援プロジェクト「個別検討会」への参加依頼について

標記について、下記のとおり開催します。

つきましては、参加企業の課題解決に向けて、ご指導・ご助言をしていただきますようお願いいたします。

記

1. 日 時 2026 年 月 日 () : 00 ~ : 00

2. 場 所

3. 開催概要 添付資料のとおり（個別検討会開催申請書）

以 上

個別検討会開催報告書

2026年 月 日

報告者

所属：_____

氏名：_____

開催日時	2026年〇〇月〇〇日 □□：00 □□：00
開催時間	〇時間〇〇分
開催地 〔住所〕	〔 〕
参加者 (敬称略)	指導研究員： 会員企業： 事務局：
テーマ	
指導、 アドバイス、 検討事項等	
その他 (添付資料等)	

【事務局記載欄】

産業創造部長	事業支援グループ			総務企画部		
	グループ長	副グループ長	担当	部長	グループ長	担当

本報告書の受領をもって、謝金・旅費の支払い手続きを行います。

事業区分 225

(受領日 . . .)

謝金 @5,000 円 × 単位* = 円 * 30分までを1単位とし、上限4単位まで

旅費 円

2026 年 4 月 日

2026 年度 育成支援プロジェクト（感性価値編）個別検討会

研究計画書

テーマ名「」

会員企業： 株式会社
（研究者： 大学 氏名）

1．研究概要

2．背景・目的

3．課題・目標・解決方法

例えば目標は、

- ① 実装すべき商品(目指す姿)のラフ構想が描けている
- ② 特定課題の解決方法を見出せている
- ③ 商品/デザインの実装仕様(定量的目標値)が決定している

など

4 . スケジュール

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		→										
						→						
									→			

5 . 事業化

以 上

2027 年 月 日

2026 年度 育成支援プロジェクト（感性価値編）個別検討会

取組総括

テーマ名「 」

会員企業： 株式会社
（研究者： 大学 氏名）

1. 研究概要

1.1 課題

1.2 目的・目標

1.3 研究内容(解決手法・結果等)

1.4 達成状況と評価

2. 成果と今後の活用見込み

2.1 成果（技術、技能の向上等を含む）

2.2 今後の活用見込

3. その他（気づき、感想等）

以上

研究者一覧（2026年度予定：2026.6.5現在）

No.	氏名	法人名	所属・肩書		
1	石原 恵子	広島国際大学	健康科学部	社会学科	教授
2	石原 茂和	広島国際大学	健康科学部	心理学科	教授
3	井上 勝雄	株式会社ホロングリエイト	研究顧問		
4	井上 貴央	鳥取大学	名誉教授		
5	長 篤志	山口大学	大学院創成科学研究科		教授
6	柏尾 浩一郎	色彩生活コーポレーション株式会社	代表取締役	主席カラーストラテジスト	
		一般社団法人感性実装センター	代表理事	センター長	
7	小澤 真紀子	色彩生活コーポレーション株式会社	ジェネラルマネージャー	上席カラーストラテジスト	
		一般社団法人感性実装センター	副センター長	上席研究員	
8	國藤 勝士	岡山県工業技術センター	応用技術部	繊維加工科	科長
9	栗田 雄一	広島大学	大学院先進理工系科学研究科	電気システム制御プログラム	教授
10	古賀 敦朗	鳥取大学	研究推進機構		教授
11	佐藤 希代子	倉敷市立短期大学	服飾美術学科		教授
12	土屋 敏夫	安田女子大学	理工学部	情報科学科	教授
13	長田 和美	山口県立大学	国際文化学部	情報社会学科	准教授
14	農澤 隆秀	広島大学	大学院先進理工系科学研究科	輸送・環境システムプログラム	客員教授
15	長谷川 正哉	県立広島大学	保健福祉学部	理学療法学コース	教授
16	福村 愛美	岐阜市立女子短期大学	デザイン環境学科		教授・学科長
17	原 涼輔	山口県産業技術センター	経営管理部	経営戦略室 広報・デザイングループ	専門研究員
18	三木 幹子	広島女学院大学	人間生活学部	生活デザイン学科	教授
19	宮崎 由樹	中京大学	心理学部	心理学科	教授
20	森永 浩介	近畿大学	工学部	ロボティクス学科	講師
21	横山 詔常	広島県立総合技術研究所	西部工業技術センター	生産技術アカデミー製品設計研究部	部長
22	渡部 和彦	スポーツ健康科学研究所	代表		
		広島大学	名誉教授		
23	太田 恵理子	元キリンホールディングス株式会社			元シニア・フェロー
24	五福 明夫	岡山県立大学			理事長（学長）
		岡山大学	工学部		特命教授（研究）
25	住岡 恭子	岡山大学	学術研究院	社会文化科学学域	准教授
26	井上 誠	県立広島大学	保健福祉学部	看護学コース	准教授
27	植木 賢	鳥取大学	医学部	医学科	教授
28	中道 大介	dise DESIGN STUDIO	代表		
29	藤江 浩子	福山平成大学	福祉健康学部	こども学科	講師